



三浦市議会だより

第 123 号
平成28年(2016年)2月1日
編集：議会だより編集委員会
発行：三浦市議会
〒238-0298
神奈川県三浦市城山町1番1号
☎ 046(882)1111内線462・463



三崎中学校体育館が完成！12月21日の竣工式の様子

第4回定例会

教育委員会の移転に関連する各議案を審議 各会計補正予算などを可決

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
12月2日	水	本会議	会期の決定、一般質問
3日	木	本会議	一般質問
4日	金	本会議	一般質問、議案の審議（説明・委員会付託）
7日	月	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
8日	火	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
10日	木	本会議	議案の審議（総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決）、人事案件（人権擁護委員）、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十七年第四回定例会は、十二月二日から九日間を会期として開かれました。
今定例会では、図書館設置条例の一部を改正する条例など十三議案を審議しました。
また、十月に開催した議会報告会について結果をとりまとめ、議会運営委員会で総括を行いました。（記事七面）

〈議会だより第123号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
常任委員会の審査	2面
陳情	2面
一般質問	3～7面
議会報告会	7面
姉妹都市交流、行政視察報告	8面
人事	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

◎三浦市市税条例等の一部を改正する条例

本家は、地方税法の一部改正等に伴う規定の整備のほか、個人番号及び法人番号に係る規定等の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

・新たに規定された換価の猶予に係る具体的な内容について
・マイナンバー制度の開始に伴う個人番号及び法人番号の記載の取り扱いについて
・平成二十八年度における軽自動車税の収入見込みについて

◎三浦市消防団条例等の一部を改正する条例

本家は、消防団員の定数及び費用弁償の額の見直し並びに本団部長の階級の廃止など、所要の規定の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

・消防団員定数の削減



による消防活動への影響について

・消防団員に対する報酬の横須賀市との比較について

【質問】 今回の改正により考えられる効果は。

【答弁】 各分団単位で行っていた団員数の調整が地区単位で行えるようになり、柔軟な人員確保体制と入団しやすい環境が整うこと、地区単位での活動が行えるようになるので、初動体制が強化されるとともに組織の効率化が図られることが考えられる。

◎平成二十七年度三浦市一般会計補正予算(第三号)

本補正は、歳入歳出それぞれ六千二百五十九万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額を百六十三億千三百一十九万九千円とするほか、繰越明許費の設定並びに債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

(質疑の主な項目)

・消防署三崎分署の増築の内容について
・選挙権年齢引き下げに対応する事務と啓発の取り組みについて

【質問】 がん検診にかかわる事業費が増加した理由は。

【答弁】 有名女性タレントの乳がん罹患の公表以降、がん検診の受診申し込みが大きく増加したことから、乳がん検診二百五十二名分の委託料の追加など、受診数の増加に対応するものである。

◎平成二十七年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ十一万円を追加し、歳入歳出予算の総額を五億五千九十七万五千円とするものです。

(質疑の主な項目)

・臨港道路など、漁港周辺施設の管理について
◎三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例

本家は、職員の不祥事に伴い、市長及び副市長の給料を減額することについて

【質問】 教育委員会機能移転に向けた市役所第二分館の改修工事の状況は。

【答弁】 平成二十八年二月十五日を工期に工事を進めるが、移転については、工事を終了した部分から順次行っていく。

◎平成二十七年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ千一萬五千元を追加し、歳入歳出予算の総額を七十九億六千八百六十七万四千円とするものです。

都市厚生

◎三浦市教育研究所設置条例の一部を改正する条例

本補正は、歳入歳出それぞれ六千二百五十九万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額を百六十三億千三百一十九万九千円とするほか、繰越明許費の設定並びに債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

(質疑の主な項目)

・市民が利用できるスペースへのピアノの設置や、使用料の徴収について
・視聴覚ライブラリー条例に職員配置に係る規定を整備した理由

【質問】 有名人女性タレントの乳がん罹患の公表以降、がん検診の受診申し込みが大きく増加したことから、乳がん検診二百五十二名分の委託料の追加など、受診数の増加に対応するものである。

【質問】 今回の改正により考えられる効果は。

【答弁】 各分団単位で行っていた団員数の調整が地区単位で行えるようになり、柔軟な人員確保体制と入団しやすい環境が整うこと、地区単位での活動が行えるようになるので、初動体制が強化されるとともに組織の効率化が図られることが考えられる。

【質問】 今回の改正により考えられる効果は。

【答弁】 本事業の発覚後、本人や各部署からの事情聴取等、行えること

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。

【質問】 介護認定の申請件数が増加したことから、認定調査員の稼働日数をふやしたものであり、調査人数は月平均三十二人増加した。



新たに提出された陳情

◎宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書
趣旨 本陳情は、「地球社会建設決議」の議決を求めたいです。

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員について国への意見書提出を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、県に意見書を提出するよう求めています。

◎市民生活と市財政に甚大な影響を及ぼす二町谷埋立て。その埋立ての全面的な検証と対策を求める陳情書
趣旨 本陳情は、埋立事業の検証と今後の対策を求めたいです。

◎三浦市に作られるゴミ処分場の発注工事についての陳情書
趣旨 本陳情は、最終処分場建設工事について、地元企業

◎沖繩の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖繩米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎沖繩の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖繩米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎沖繩の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖繩米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情書
趣旨 本陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。

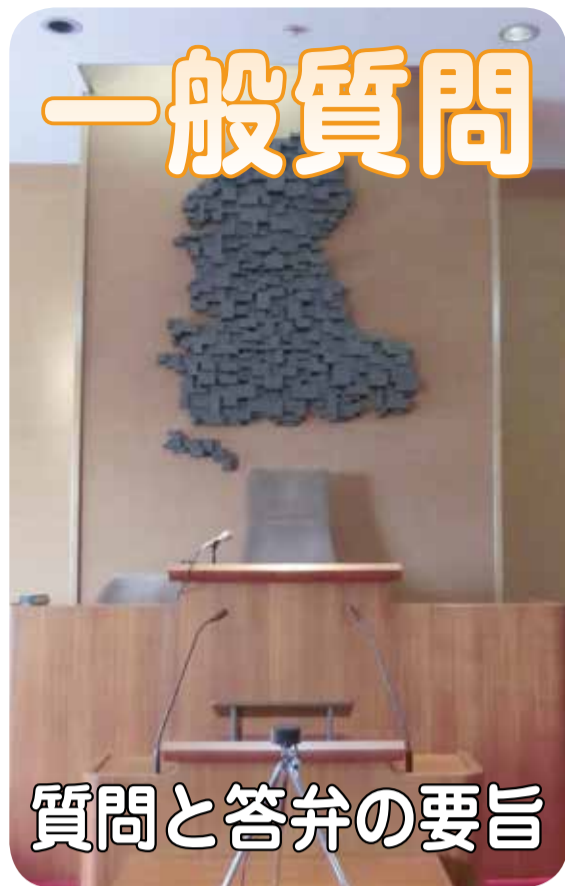
常任委員会での陳情の審査結果

12月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて11件を審査しました。今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。そのほかの8件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	安全保障関連法案の策定の中止を求める意見書の採択を求める陳情	審議未了
	マイナンバー制度実施の中止または延期を求める国への意見書提出を求める陳情	〃
	宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書	〃

一般質問

質問と答弁の要旨



- 地域再生計画の取り組み (公明党 藤田 昇).....3面
- 今後の防災訓練 (自由民主党 出口正雄).....3面
- 市営住宅の展開 (無所属 下田 剛).....4面
- 観光案内の取り組み (みうら市政会 長島満理子).....4面
- 教育委員会の独立性は (日本共産党 石橋むつみ).....4面
- 観光と地域経済 (無所属 寺田一樹).....5面
- 小網代の森 (みうら市政会 出口眞琴).....5面
- 緑化による観光振興 (日本共産党 布川照美).....5面
- 三浦版CCRC構想の是非 (無所属 木村謙蔵).....6面
- 「三浦らしい教育」とは (みうら市政会 神田眞弓).....6面
- 地域の消防力向上 (日本共産党 小林直樹).....6面
- 三浦市農業の振興 (みうら市政会 草間道治).....7面

地域再生計画の取り組み

空き家対策、健康づくり施策

公明党 藤田 昇

質問 現在、市では、二町谷地区の利活用のため、地域再生計画の策定に取り組んでいる。

二町谷地区の利活用に関心の高い事業者により構成される事業者部会は、地域再生計画の内容と方向性を決める重要な役割を担う。事業者の参入の可能性が少しでも高まるような取り組みを行ってほしい。

市長 参入しやすい環境をつくるには事業者の声を吸い上げることが重要であり、現在の事業者部会のスキームは、丹念に事業者とヒアリングを行った上で構築している。

このような形式の事業は市として初めてであり、丁寧に進めたい。

質問 民間との連携として、空き家を活用した定住化の促進が求められる。

総務経済常任委員会で視察した石川県珠洲市の空き家バンク制度では、売買や賃貸が可能な空き家を市のホームページで紹介し、物件の案内や契約は宅地建物取引業組合に委託している。

本市でも民間と連携した空き家バンク制度を活用してはどうか。

市長 珠洲市の空き家バンクは所有者、不動産業者、市が連携して、うまく運営されている。他の自治体の事例を参考に、三浦市の実情に即した空き家バンクを設置することが必要だと思う。

今後の防災訓練

電力自由化、三高跡地の利活用

自由民主党 出口 正雄

質問 十一月七日に行われた総合防災訓練には、自衛隊は陸上自衛隊のみの参加だった。

三浦市は三方を海に囲まれ、災害時には津波による被害も予想されることから、海上自衛隊にも参加を依頼してはどうか。

市長 総合防災訓練は、市の防災対策にとって最も重要な取り組みである。今後もさまざまな防災関係機関が参加できるように全体の構成を組み立て、訓練参加の要請を継続していきたい。

地域の防災訓練については、市内全域を対象とした津波避難訓練を継続的に行うとともに、市民防災講座を開催し、市民の防災意識向上に取り組んでいく。

められる。

市長 複数の電気事業者の中から、各家庭の生活スタイルに合った料金プランを選択できるようにするので、市民への影響は一定程度であると認識している。

市民への情報提供については、国・県と連

地元の不動産業界も関心を持っているので、手法を検討したい。

質問 策定中の次期総合計画について、以前、市民全体の健康意識を高めるための健康まちづくり施策を盛り込むことを提案した。

また、県が策定を進めている(仮称)三浦半島魅力最大化プロジェクトの中でも健康施策の展開が考えられる。これらの取り組みには部門を超えた連携支援が必要ではないか。

市長 高齢化に伴う医療費の抑制は市の重要課題であり、部門を超

えた健康施策の推進の必要性は認識している。また、(仮称)三浦半島魅力最大化プロジェクトでの健康施策の展開は、三浦の魅力をもっと高めていくために取り組んでいきたい。

携した動きになると思うので、十分注意しながら、具体的な検討をしていきたい。

質問 三崎高校跡地にシアとの事業契約が正式に締結された。

以前、市長は市役所の移転に言及していたが、今回の契約が進んだことによる影響はあるのかお聞きする。

市長 市役所の移転に関して、三崎高校跡地も候補地の一つである旨は発言している。今回利用しないB地区の利活用に関しては、A地区の事業展開を踏まえながら検討することになる。今後、B地区や旧三崎中学校跡地を含む城山地区の検討を進める中で、市役所の移転についても結論を出していきたい。



総合防災訓練の様子



二町谷埋立地

市営住宅の展開

道路の安全対策、住みよい町

無所属 下田 剛

※は欄外に説明を記載

質問 若者に三浦市に住んでもらうためには、市営住宅の考え方を数多く用意していくべきだと考える。

今後の市営住宅の展開はどのように考えているか。

市長 現在の三浦市営住宅ストック計画は、市営住宅を一定度集約するという計画になっているが、これを見直す予定である。

若年層の入居を考慮した住宅や、移住・定住のための住宅の整備については、大きな投資が難しい状況から、民間との連携による PPP を活用した取り組みを検討している。

歩行者の安全確保
質問 上宮田にある諏訪神社から海岸線までの市道七号線の区間は、歩行者の安全確保を目的としたグリーンベルトを設置したい。

市道七号線は、重点改善箇所を選定されたが、道路の幅が狭く、交通量も多いので、交通環境改善のための路面表示等の設置を検討したい。

市長 市道七号線は、市や学校関係者等が行った通学路の合同点検で重点改善箇所を選定され、グリーンベルトを設置した。

トが設置され、効果があつたと感じている。

市道七号線に隣接し、海岸通りに並行した市道一号线(いわゆる旧道)は、同様に道幅が狭く交通量が多いが、歩行者の安全確保の取り組みは行っているのか。

市長 市道七号線は、市や学校関係者等が行った通学路の合同点検で重点改善箇所を選定され、グリーンベルトを設置した。

市道一号线は、重点改善箇所を選定されたが、道路の幅が狭く、交通量も多いので、交通環境改善のための路面表示等の設置を検討したい。

を利用しやすい庁舎

質問 誰にでも住みよい町とは、誰もが移動しやすいつまは市役所に行くことが多いと思うが、市役所庁舎について、お越しいただく方に対してどのような配慮をしているかお聞きしたい。

市長 市役所庁舎は多くの市民が利用する施設であり、誰もが安心して利用できるものでなければならぬと認識している。

庁舎には出入り口の段差を解消するためのスロープや、視覚障害

者のための点字タイルなどを設置しているが、改善すべき箇所もある。今後、誰もが利用し

やすい施設となることを目指して、財源を考慮しつつ、可能な限り整備を図っていききたい。



市役所第2分館に設置されたスロープ

教育委員会の独立性は

平和行政、保険制度の維持

日本共産党 石橋 むつみ

質問 平成二十七年四月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正法が施行された。新制度では、市長と教育委員会で組織する総合教育会議が開催され、市長が公の場で教育政策について議論することになる。

政治が教育内容に介入したり、首長がかわることで教育の継続性、自律性、自主性が揺らぐようなことがあつてはならない。今後も教育委員会の政治的中立性は確保されるのか。

教育長 総合教育会議で市長と協議、調整は行うが、教科書の採択や個別の教職員の人事、そのほか教育委員会の所掌に係る事務の最終的な執行権限は教育委員会に留保されるので、教育委員会の政治的中立性、継続性、安定性は確保されている。

平和の標語は去年、ことしと取り組まれたが、来年以降も継続し、また、さまざまな年代の方が参加できるようにするなど、今後の取り組みに期待したい。

市長 二年間、平和の標語の募集に取り組んできたが、子供たちの平和への思いが伝わる、非常に効果的な事業だったと実感している。

来年度の具体的な内容はこれから検討していくが、より幅広い方に平和を考えていただく機会をつくれるよう、対象年齢や実施内容等

を見直して、新たな企画にしていきたい。

TPPの影響
質問 TPPは、十七年九月に参加国による大筋合意がされたが、その内容は余り明らかになっていない。

日本が批准すべきかについては今後、国会で審議されるが、市は、医療の問題についてもしっかりと見張り、保険診療について国に要望を上げてほしい。

市長 TPPは特に農業等への影響が心配されているが、医療保険についても、他国が日本の医療市場に参入することで国民皆保険制度が崩壊するのではないかという報道がされている。今後、国の動向を注視したい。

観光案内の取り組み

地域主導の情報発信、地域資源の活用

みうら市政会 長島 満理子

質問 九月議会で三浦海岸駅における観光案内所の設置や、観光インフォメーションセンターの案内標示について質問したが、具体的な取り組みがされていないように見受けられ

る。その後の進捗状況をお聞きしたい。

市長 三浦海岸駅構内への観光案内所の設置が難しいのであれば、三浦海岸桜まつりや三浦国際市民マラソンの開催時、海水浴シーズに臨時の案内所を設けてはどうか。

経済部長 三浦海岸駅構内での観光インフォメーションセンターの案内については、間もなく案内表示が掲出できると見込みである。

また、駅構内への観光案内所の設置は難しい課題であるが、臨時に簡易な案内所を開設する可能性について、三浦市観光協会とも

三浦市でも同様の取り組みを行えば、観光客が気軽に各所で案内を受けられると考えるが、いかがか。



観光インフォメーションセンター

経済部長 宇和島市では、認定された地元の店舗が観光ポスターやパンフレットの掲示・配布をするなど、情報発信の一翼を担っている。



核兵器廃絶平和都市宣言記念碑

※PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)……公共事業に民間資金を取り入れる手法

観光と地域経済

新規バス路線、二十八年度予算編成

無所属 寺田 一樹

質問 昨今、来遊客が増加し、平日でも町がにぎわうようになったが、その一方で、地域経済は長いトンネルから抜け出せていない。行政は、下町・城ヶ島地区活性化方策を打ち出すなど、幾多の対策を講じているが、大きな効果には結びついていない。

行政として、現在の地域経済の状況をどう捉えているのか。

市長 観光客は増加傾向にあるが、地域の景気が格段によくなったと感じるまでには、まだまだだろうと考える。昼間の流入人口の増加によって、地域内での消費が増加することは間違いなくと考えているので、引き続き観光客の誘致に全力を挙げていく。

来遊客の誘導
質問 小網代の森から三崎下町、城ヶ島への回遊性を高めるため、西海岸線経由の新規バス路線が誕生した。小網代の森から新規路線を利用するには油壺バス停から乗車する

必要があるが、来遊客に対するバス停の誘導がない。



油壺バス停

財源と市民負担
質問 現時点での平成二十八年度予算は、昨年より厳しい財政状況にある。新たな財源対策はどのように考えているか。

十月から下水道料金を値上げし、下水道のつながつている世帯の負担が増している中であり、市民に新たな負担を求めることのないようにしてほしい。

市長 厳しい予算編成ではあるが、市民サービスの低下や市民負担の増加を極力抑えるように進めたい。

財源については、ふりかきかけるほか、京浜急行バス株式会社に対し運行案内の表示を依頼していきたい。

小網代の森

行政情報の管理

みうら市政会 出口 眞琴

質問 一般開放以来、小網代の森を訪れた観光客は十万人を超え、散策や環境学習の場として好評を得ている。当初より多くの要望が出ていた常設トイレの設置については、平成二十八年度に整備や周辺環境の保全等に活用している。

市長 常設トイレ完成までの間の仮設トイレの充実に関しては、地元の方々から直接県に伝えられている。三浦市としても必要性を感じているので、県に申し入れを行っている。

利用者からの募金
質問 富士山の近隣市町村では、募金を集め、富士山の整備や周辺環境の保全等に活用している。

市長 一般の方々からの資金提供の手段としては、なかなかわがトラストみどり財団の制度があるが、ご指摘の課題解決には利用できない状況である。

募金箱については、設置場所や管理方法など検討課題があるので、県や関連機関と協議していきたい。

今後の対応
ごみの問題やトイレ等、小網代の森にかかわる諸課題の解決に向けて、利用者からの募金を受け付ける募金箱を設置してはどうか。

市民部長 市の情報セキュリティ委員会において、二十九年度まで



小網代の森 仮設トイレ

緑化による観光振興

地域の見守り、コミュニティ活動の場

日本共産党 布川 照美

質問 観光客を呼び込む手段の一つに緑豊かな自然環境がある。観光客は必ず道路を通って移動することから、多くの観光客が通る道こそ整備された景観が必要だと考える。

幹線道路に沿った緑地を良好な景観として保全することはできないか。

都市環境部長 幹線道路の緑化推進は景観の向上につながるものと

高齢者の孤立
質問 高齢者のひとり暮らしは、高齢者のい

境の保全等に活用している。ごみの問題やトイレ等、小網代の森にかかわる諸課題の解決に向けて、利用者からの募金を受け付ける募金箱を設置してはどうか。

保健福祉部長 三浦市は近所同士のかかわりが深く、相互に助け合う風土が根差している。平成二十七年三月に「おせっかいのすずめ」をテーマに講演を

音楽サークルの利用
質問 青少年会館閉鎖後は、旧三中に市民が利用できるスペースを二部屋確保することを検討している。このスペースについて、音楽活動を行うサークルも使用できるように、ピアノや防音装置の設置ができないか。

教育部長 音楽活動による利用に関しては、現在、近隣への音の影響について調査を進めている。防音のための工事は



市役所第2分館 (旧三中)

三浦版CCRC構想の是非

市民交流拠点整備、特養建設

無所属 木村 謙蔵

※は欄外に説明を記載

質問 本市では現在、三浦版CCRC構想を策定するため、委託調査の準備を進めている。

市長 市は、CCRC構想は人口増加策として有効であり、雇用や経済活動、税の面でも効果が生じると言うが、高齢者が増加し、その多くがいずれ要介護状態になることを考えると、大きなデメリットもあるのではないかと懸念している。

市長 三浦版CCRC

「三浦らしい教育」とは

体育館跡地の活用、消防広域化

みうら市政会 神田 眞弓

質問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、市の教育大綱を市長が策定することになった。

市長 教育委員会が進めてきた事業に、私の提唱する「三浦らしい教育」を加えることで、市長と教育委員会が連携を図り、一致した考えで事業展開ができると考

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

パーマネントが整備される。既存店舗への影響は大きく、町全体としてはマイナスになると考

市長 事業者が想定する顧客の中には、現在、横須賀市へ買い物に行っている三浦市民や横須賀市民なども含まれるので、現在の顧客規模のまま同業種や商店が影響を受けるとい

市長 施設整備を行う各事業者において、入札の不調や社会福祉法人設立に当たっての調整に時間を要したこと

質問 平成二十七年度から、第六期三浦市高齢者保健福祉計画・三浦市介護保険事業計画がスタートしている。

市長 特別養護老人ホームの施設整備は、第五期計画中に公募が行われ、平成二十六年度までに開所する予定だったが、二施設ともおくれが生じている。

市長 施設整備を行う各事業者において、入札の不調や社会福祉法人設立に当たっての調整に時間を要したこと

等からおくれが生じた。整備はおくれているが、特養の入所待機者数などから引き続き強

市長 施設整備を行う各事業者において、入札の不調や社会福祉法人設立に当たっての調整に時間を要したこと

いニーズがあると認識して、第六期計画に引き継いで施設整備を進める判断をした。

市長 施設整備を行う各事業者において、入札の不調や社会福祉法人設立に当たっての調整に時間を要したこと

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

市長 現在、城山体育館跡地を含む城山地区全体の将来的な利用方

※三浦版CCRC構想……日本版CCRC構想(高齢者が地方に移り住み、健康でアクティブな生活の実現と継続的なケアが受けられる地域づくり)を推進し、三浦市の持つ魅力的なコンテンツを活用しながら、雇用創出や人口減少抑制に寄与するまちづくりを目指すもの



城山体育館



休日の下町商店街



三崎高校跡地

※三浦版CCRC構想……日本版CCRC構想(高齢者が地方に移り住み、健康でアクティブな生活の実現と継続的なケアが受けられる地域づくり)を推進し、三浦市の持つ魅力的なコンテンツを活用しながら、雇用創出や人口減少抑制に寄与するまちづくりを目指すもの

三浦市農業の振興

三崎高校跡地活用、PPP

みうら市政会 草間 道治

質問 現在、三浦市では、観光振興ビジョンを、水産業では漁港を核とした振興ビジョンを策定している。

今後、本事業についての市民への周知はどのように行おうのか。報道機関や新年対談の場など、さまざまな機会を利用してはどうか。

市長 子育て賃貸住宅は、子育て世代の転入促進策として大変有効で、ニーズもあると思う。立地条件等を考慮した上で、当該敷地を含めた市有地の中で比較検討し、慎重に進めたい。

経済部長 農業は本市の基幹産業として重要な役割を担っており、将来を見据えたビジョンを持つことは必要だと考える。

市長 子育て賃貸住宅は、子育て世代の転入促進策として大変有効で、ニーズもあると思う。立地条件等を考慮した上で、当該敷地を含めた市有地の中で比較検討し、慎重に進めたい。

市長 子育て賃貸住宅は、子育て世代の転入促進策として大変有効で、ニーズもあると思う。立地条件等を考慮した上で、当該敷地を含めた市有地の中で比較検討し、慎重に進めたい。

事業の周知方法は
質問 三崎高校跡地の利活用は本市の重要課題であり、株式会社ベイスシアと事業契約が締結されたことは本当に良かったと考えている。



三浦市の基幹産業・農業

場をふやしていきたい。

PPPの活用

質問 三浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、子育て世代の転入促進のため、PPPを活用した子育て賃貸住宅の検討を行うとしている。

議会報告会を開催しました

平成二十七年十月十七日～十八日の二日間にわたり、市内三地区で第二回目となる議会報告会を開催しました。

今回は「議会改革の取り組みについて」と「三浦市の課題について」をテーマに報告を行うとともに、市議会や市政全般に関する質疑応答を行いました。

両日合わせて五十四名の参加があり、熱心なご意見をいただくことが出来ました。ありがとうございました。

三崎地区
開催日：十月十七日(土)
会場：三浦市青少年会館
参加人数：二十三名

・市民生活の向上について、実りのある議論をしてほしい。市民も参加していくべき。アンケートから

初声地区
開催日：十月十八日(日)
会場：三浦市総合体育館
参加人数：八名

・市民交流拠点整備事業について、先進的な取り組み、方向性を望みたい。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

質疑応答
Q：通年議会を行うことが必要ではないか。
A：過去に協議を行い、現状においては導入する必要が認められないことを確認した。

・市民交流拠点整備事業について、先進的な取り組み、方向性を望みたい。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

Q：旧三中にはエレベーターが設置されるのか。車椅子やベビーカーの方は上がれないのでは。
A：暫定利用のため、設置の予定はない。車椅子やベビーカーの方は、声をかけていただければ職員が対応する。

・どの質問に対しても中途半端な答えだった。議会が課題についてどう審議したのかが全く理解できない。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

意見・要望
・質問者と議員の話がかみ合っていない。事前に質問を受け付けて、準備しておけばよいのでは。

・多くの市民に質問を出してもらい、説明を重ねてほしい。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

意見・要望
・青少年会館が廃止されると、使い勝手がよく、気軽に使用できる

・市民交流センターは、町おこしを考えた「道の駅」等が組み込まれたらと思う。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

文化的施設がなくなってしまう。新たな施設を整備してから廃館や移転といった手段に移ってほしい。

・市民交流拠点整備事業は、町おこしを考えた「道の駅」等が組み込まれたらと思う。

意見・要望
・市民交流拠点整備事業は、町おこしを考えた「道の駅」等が組み込まれたらと思う。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

・市民交流センターは、町おこしを考えた「道の駅」等が組み込まれたらと思う。

・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。

・市民交流センターは、町おこしを考えた「道の駅」等が組み込まれたらと思う。

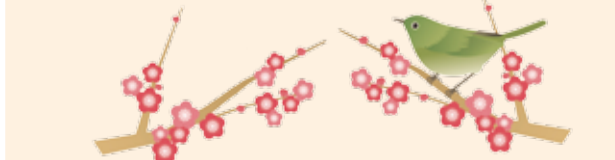
・今回の三浦市議会議員選挙の投票率の低さが恥ずかしい。投票率を上げるために選挙管理委員会等と協力して検討してほしい。



当日の様子 (三崎地区)



当日の様子 (南下浦地区)



各地区の報告書やアンケートの集計結果、当日の資料については、三浦市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



議会運営委員会での意見交換

報告会の総括

議会報告会開催後は、各地区を担当した班ごとに報告書の作成やアンケートの集計を行いました。

その後、十一月十三日に議会運営委員会を開き、全議員出席のもとに議会報告会の総括を行いました。

総括では、各班の代表者から開催結果が報告され、その後、保留となっていた質問への回答などの協議や意見交換を行いました。



熊谷 武矢氏
(原町)
人権擁護委員

市長より、次の方を
人権擁護委員として法
務大臣に推薦すること
につき議会の意見を求
める諮問が提出され、
異議なき旨答申するこ
とに決しました。

人事

議会を傍聴しませんか

平成28年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

Table with columns: 月日, 曜日, 会議名等. Lists dates from 2月23日 to 23日 and meeting names like 招集告示, 議会運営委員会, 本会議, etc.

※請願・陳情の提出期限は2月24日(水)です。

- ◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されています。傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入してください。
◆三浦市議会では、「市民に開かれた議会」の実現に向けた取り組みとして、本会議のインターネット中継を行っています。
◆お問い合わせは議会事務局へ 電話 046-882-1111 内線462・463

姉妹都市交流。行政視察報告

本年度、三浦市議会では、長野県須坂市議会との姉妹都市交流と、総務経済、都市厚生二常任委員会による行政視察を行いました。

姉妹都市交流・研修

姉妹都市である長野県須坂市の市議会議員とは四年に一度ずつ、お互いの市を訪問し合い、親交を深めています。

今回は十月二十六日、二十七日の二日間におたり三浦市で研修会及び市内視察を実施し、十八名の須坂市議会議員の参加がありました。

今回は十月二十六日、二十七日の二日間におたり三浦市で研修会及び市内視察を実施し、十八名の須坂市議会議員の参加がありました。



午後には須坂市へ向けて帰路につきました。今回の姉妹都市交流も両市にとって充実した二日間となりました。

総務経済常任委員会

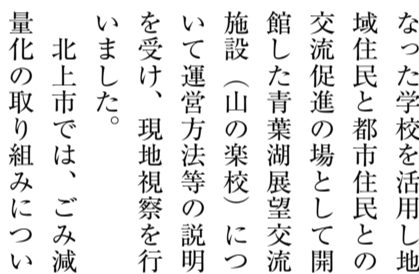
十月五日～六日に石川県輪島市及び珠洲市を訪問しました。



輪島市では、海を埋め立ててインフラ整備を行っている輪島港マリンタウンプロジェクトについて説明を受け、現地視察を行いました。

都市厚生常任委員会

十月七日～八日に青森県八戸市及び岩手県北上市を訪問しました。



八戸市では、廃校となった学校を活用し地域住民と都市住民との交流促進の場として開設した青葉湖展望交流施設(山の楽校)について運営方法等の説明を受け、現地視察を行いました。

先進事例を学びました。第四回定例会では、一般質問で視察の成果を生かすことができました。

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

Table listing resolutions (議案) and questions (諮問) with their respective numbers and titles.

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

Table showing the voting results for resolutions, including names of council members and their votes (賛成/反対).

※議長は表決に加わらない